

3
七つ井戸
聖徒伝 152

「主が私を 癒やさされる」

列王記 II 20章 歴代誌 II 32章 イザヤ 38章 **ヒゼキヤの晩年**

アウトライン

0. イントロダクション

I. ヒゼキヤの地下水道 歴Ⅱ32章1～12節

II. ヒゼキヤの癒やし 列Ⅱ20章1～11節

III. ヒゼキヤの死 列Ⅱ20章12～21節

IV. まとめと適用

悔い改めに早い者になろう



ヒゼキヤの水道・出口付近

【無垢の時代】

天地創造

【良心の時代】

墮罪
~大洪水

【人類統治の時代】

バベルの塔事件

【約束の時代】

アブラハム
~ヤコブ

【律法の時代】

イスラエル
王国時代
メシア初臨

【恵みの時代】

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

【御国の時代】

千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

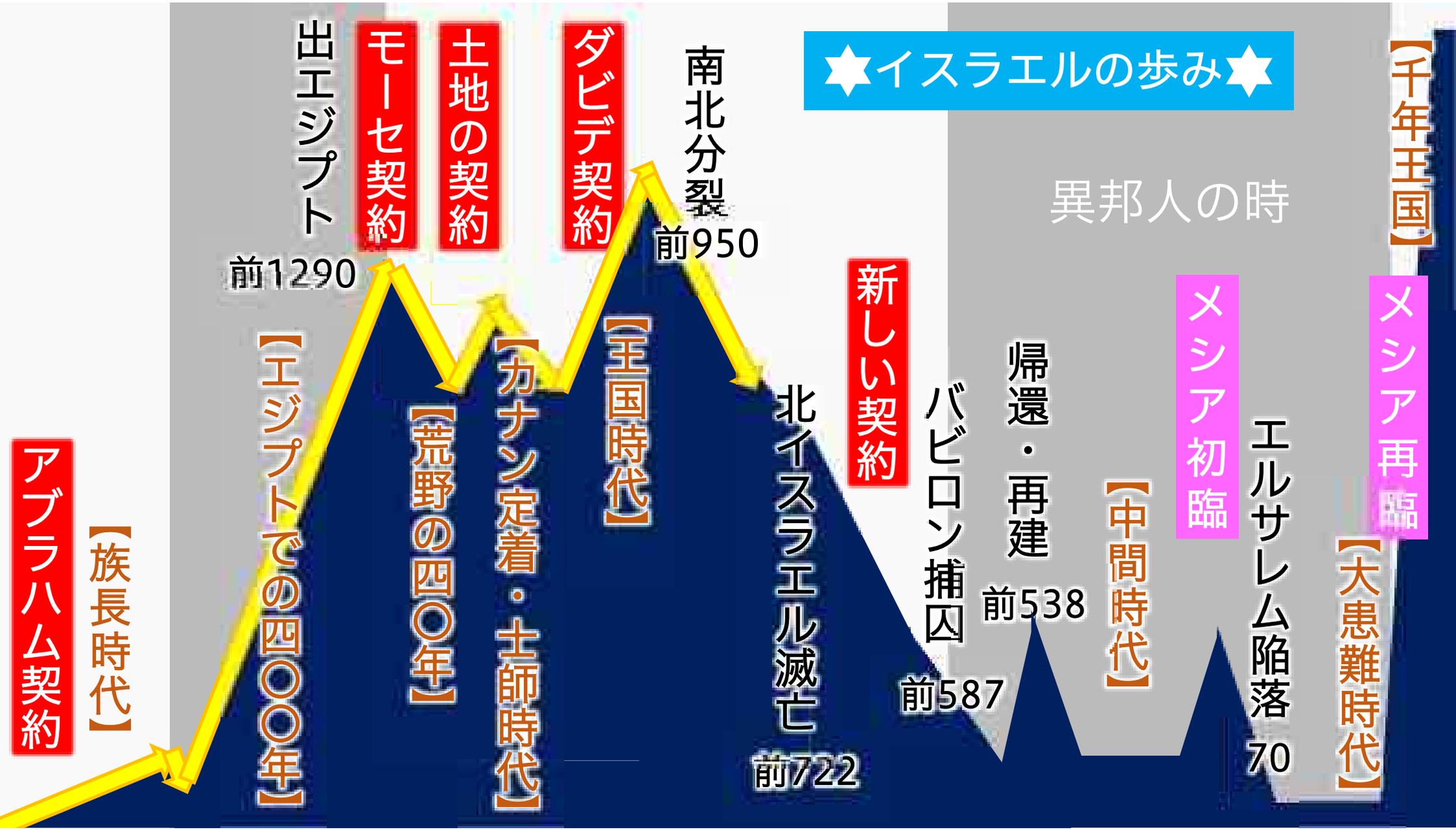
どの時代も
神の約束が礎にある

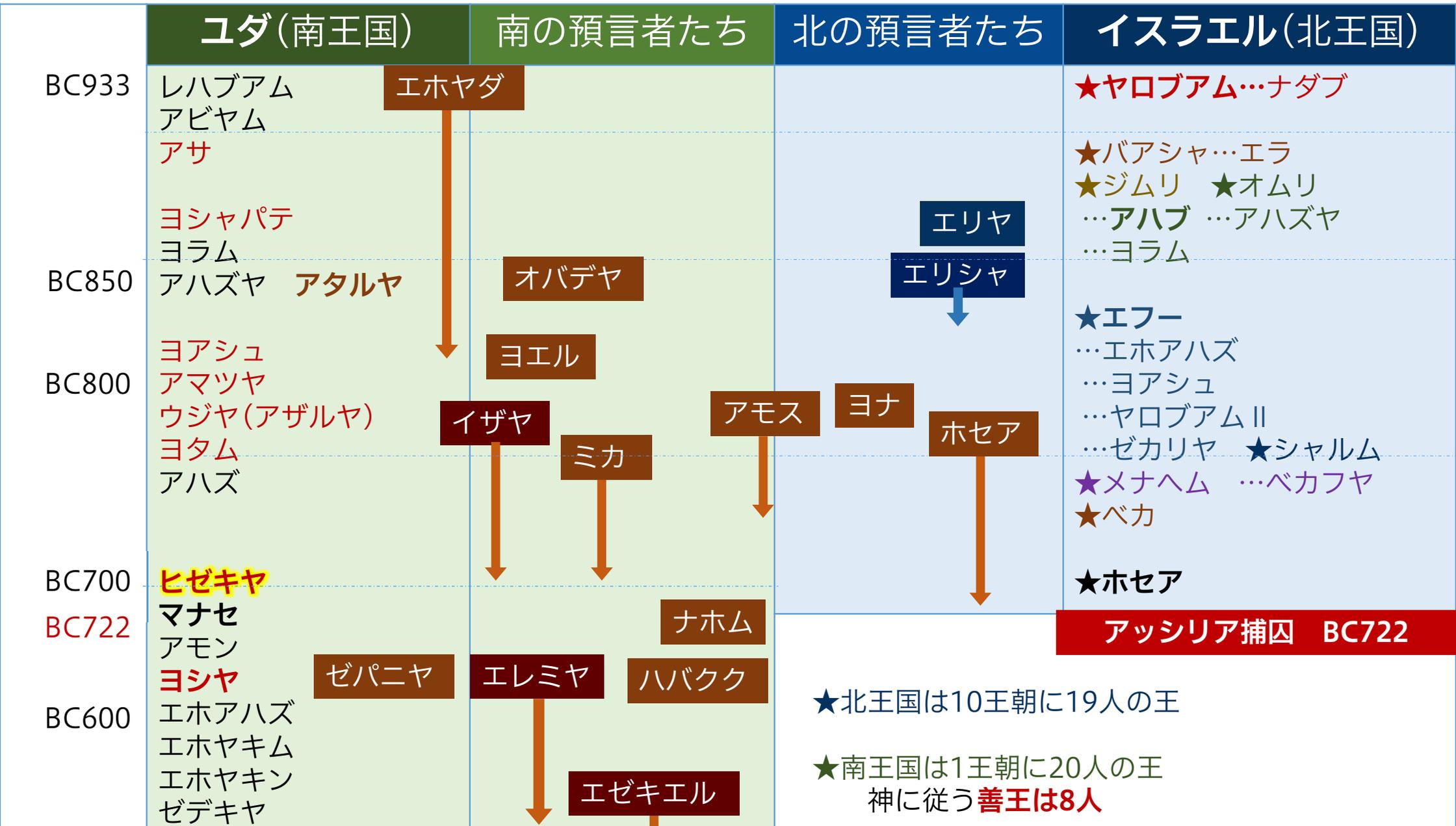
過去

現在

未来

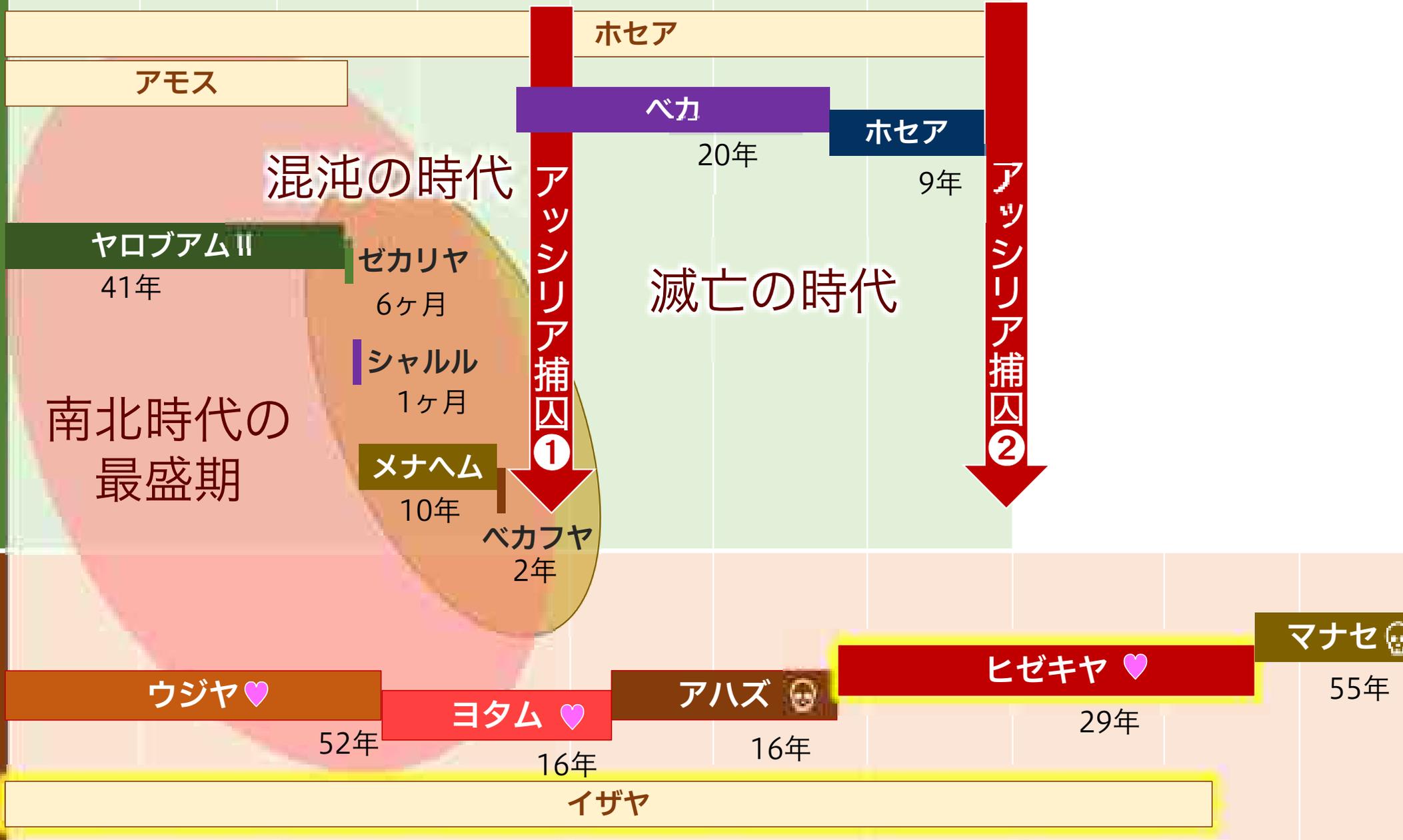
★イスラエルの歩み★





北王国
イスラエル

南王国
ユダ



混沌の時代

滅亡の時代

南北時代の最盛期

アッシリア捕囚①

アッシリア捕囚②





Ⅰ. ヒゼキヤの地下水道

歴代誌第二20章1～12節

ダビデの町の遺跡・地下に水路の入口が

歴代誌 泉の水 歴二32:1～3

これらの真実なことが行われた後、アッシリアの王センナケリブが来てユダに入り、城壁のある町々に対して陣を敷いた。それらを攻め取ろうと考えたのである。

ヒゼキヤは、センナケリブが来て、エルサレムに対して戦を仕掛けようとしているのを見たので、町の外にある泉の水*をふさごうと、高官たちや勇士たちと相談した。彼らは王を支持した。

*ギホンの泉 …城壁の外にあり最大の弱点。
かつてダビデが攻略に利用。





ヒゼキヤの水道(532m)

■
ギホンの泉

シロアムの池

キデロンの谷

ヒノムの谷

歴代誌 都の防衛の強化 歴二32:4~5

そこで、多くの民が集まり、すべての泉と、この地を流れている川をせき止めて言った。

「アッシリアの王たちに攻め入らせ、豊富な水を見つけさせてなるものか。」

王は奮い立ち、崩れていた城壁をすべて改修し、その上にやぐらを立て上げ、その外側にもう一つの城壁を築き、ダビデの町の三口*を強固にした。さらに、大量の投げ槍と盾を作った。

*エルサラムを守るやぐら・要塞



歴代誌 激励 歴二32:6~8

彼は民の上に戦時の隊長たちを立て、彼らを町の門の広場に召集し、激励して言った。

「強くあれ。雄々しくあれ。アッシリアの王や、彼とともにいるすべての大軍を恐れてはならない。おののいてはならない。彼とともにいる者よりも大いなる方が、私たちとともにいてくださるからである。

彼とともにいる者は肉の腕だが、私たちとともにおられる方は、私たちの神、【主】であり、私たちを助け、私たちの戦いを戦ってくださる。」民はユダの王ヒゼキヤのことばによって力づけられた。

ヒゼキヤはベストを尽くして主に委ねた

ヒゼキヤの地下水道



主が応えて
守られた



II. ヒゼキヤの癒やし

列王記第二20章1～11節

ヒゼキヤの水道の出口

列王記 イザヤの預言 列二20:1～2

そのころ*、ヒゼキヤは病気になって死にかかっていた。そこへ、アモツの子、預言者イザヤが来て、彼に言った。「【主】はこう言われる。『あなたの家を整理せよ。あなたは死ぬ。治らない。』」

ヒゼキヤは顔を壁に向け、【主】に祈った。

*前章からの文脈 …アッシリアの包囲軍が全滅し、センナケリブ王が故国で討たれた、そのころ。



列王記 ヒゼキヤの涙 列二20:3~4

「ああ、【主】よ、どうか思い出してください。私が真実と全き心をもって、あなたの御前に歩み、あなたの御目にかなうことを行ってきたことを。」ヒゼキヤは大声で泣いた*。

イザヤがまだ中庭を出ないうちに*、次のような【主】のことばが彼にあった。

*病の理由は記されていない。ヒゼキヤは、
神の裁きと受け取ったからこそ泣いたのだろう。
*すぐさま、ヒゼキヤが悔い改めたのだと分かる。



列王記 主の呼びかけ 列二20:5~6

「引き返して、わたしの民の君主ヒゼキヤに告げよ。あなたの父ダビデの神、【主】はこう言われます。『わたしはあなたの祈りを聞いた。あなたの涙も見た。見よ、わたしはあなたを癒やす。あなたは三日目に【主】の宮に上る*。

わたしは、あなたの寿命にもう十五年を加える。わたしはアッシリアの王の手からあなたとこの都を救い出し、わたしのために、わたしのしもべダビデのためにこの都を守る。』」

*三日目には癒やされているということ。



列王記 主の癒やし 列二20:7~8

イザヤが「ひとかたまりの干しいちじく*を持って来なさい」と命じたので、人々はそれを持って来て腫物に当てた。すると彼は治った*。

ヒゼキヤはイザヤに言った。「【主】が私を癒やしてくださり、私が三日目に【主】の宮に上れるしるしは何ですか。」

*この時、主が用いられた奇跡の方法。

➡他にいちじくで癒やした出来事はなし。

*治った経緯が、次の8節以降(再記述の法則)



列王記 主からのしるし 列二20:9～10

イザヤは言った。「次のことが、あなたへの【主】からのしるしです。【主】は約束したことを成就されます。影が十度進むか、十度戻るか*です。」

ヒゼキヤは答えた。「影が十度伸びるのは容易なことです。むしろ、影が十度後に戻るようにしてください。」

*イザヤ38:8では、日時計(=階段)の影。

日時計を兼ねた階段があったとも言われる。



列王記 戻った日時計 列二20:11

預言者イザヤが【主】に祈ると、主は、アハズの日時計に落ちた日時計の影を十度後に戻された。

■ 時間に関する奇跡

★ 時が止まった(遅くなった)…ヨシュア10:13

➔ ヨシュア記の奇跡を知っていたからこそ、
誰も経験のない、時が戻る奇跡を求めた？

永遠の唯一の神は、時をも支配される





Ⅲ. ヒゼキヤの死

列王記第二21章12～21節

ダビデの町から見たキデロンの谷

歴代誌 高ぶりと御怒り 歴二32:24

そのころ、ヒゼキヤは病気になって死にかかっていた。彼が【主】に祈ったとき、主は彼に答え、しるしを与えられた。

ところがヒゼキヤは、自分に与えられた恵みに応えようとせず、かえってその心を高ぶらせたので、彼の上に、また、ユダとエルサレムの上に御怒りが下った*。

しかし、ヒゼキヤがその心の高ぶりを捨ててへりくだり、彼もエルサレムの住民もそうしたので、【主】の御怒りは、ヒゼキヤの時代には彼らの上に臨まなかった。

*内容は不明。➡過ちと悔い改めは繰り返された。

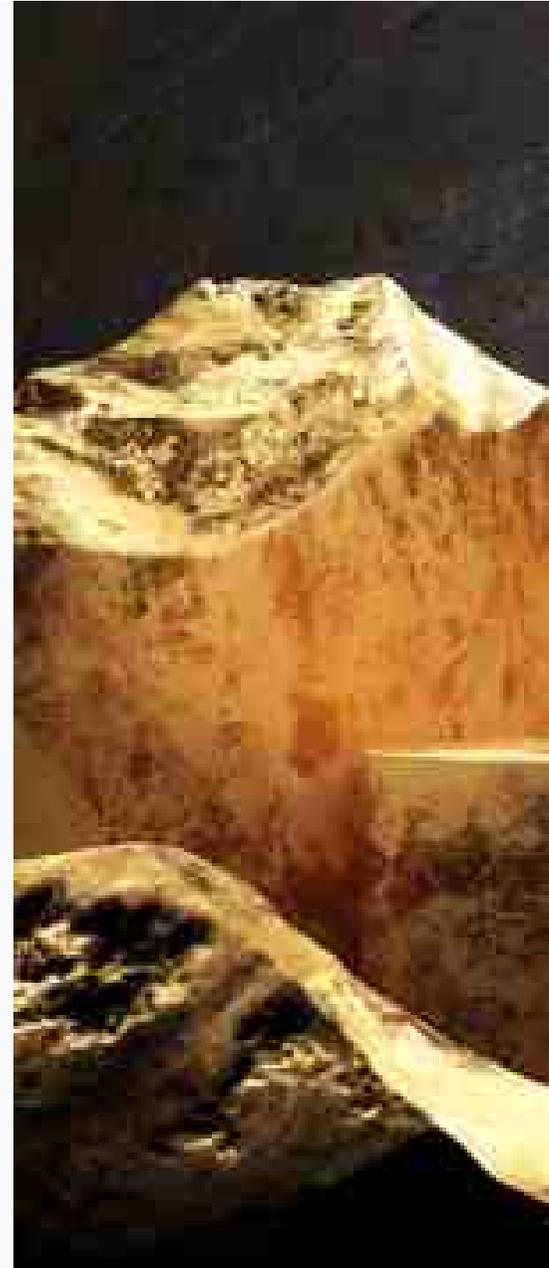
最善の王
ヒゼキヤですら!!

歴代誌 ヒゼキヤの受けた祝福 歴二32:27~28

ヒゼキヤは非常に多くの富と誉れを手にした。彼は、銀、金、宝石、バルサム油、盾、すべての尊い器を納める宝物倉、穀物、新しいぶどう酒、油などの産物のための倉庫、さらに、あらゆる家畜のための小屋や、羊の群れの囲いを造った。

彼は町々を建て、羊や牛の群れもおびただしい数であった。神が、実に豊かな財産を彼に与えられた*からである。

*富が過ちの原因となったソロモンの姿にも重なる。





列王記 バビロンの訪問 列二20:12

そのころ、バルアダンの子、バビロンの王メロダク・バルアダンは使者を遣わして、手紙と贈り物をヒゼキヤに届けた。ヒゼキヤが病気だったことを聞いていたからである。

*当時のバビロンはアッシリア配下。バロアダンは後に亡命政権を。

列王記 歓迎の後に 列二20:13~14

ヒゼキヤは彼らを歓迎して*、すべての宝庫、銀、金、香料、高価な油、武器庫、彼の宝物倉にあるすべての物を彼らに見せた。ヒゼキヤがその家の中、および国中で、彼らに見せなかった物は一つもなかった。

預言者イザヤはヒゼキヤ王のところに来て、彼に尋ねた。「あの人たちは何と言いましたか。どこから来たのですか。」ヒゼキヤは「遠い国、バビロンから来ました」と答えた。

*アッシリアを共通の敵としての同盟関係を結んだ？



歴代誌 神が試みられた 歴二32:31

ただし、バビロンの首長たちが、この地に示されたしるしについて調べるため*に彼のもとに使節を遣わしたとき、神は彼を試みて、その心にあることすべてを知ろうとして彼を捨て置かれた*。

*包囲軍の全滅、日が戻った、ヒゼキヤの癒やし、
これらのしるしを調べ、同盟を結ぼうと画策？

*ヒゼキヤがどう対応するか。主が見られていた。



列王記 ヒゼキヤの答え 列二20:15~16

イザヤは言った。「彼らはあなたの家で何を見たのですか。」ヒゼキヤは答えた。「私の家*の中のすべての物を見ました。私の宝物倉*の中で彼らに見せなかった物はありません*。」

イザヤはヒゼキヤに言った。「【主】のことばを聞きなさい。」

*「私の」と言うが、すべては主に与えられたもの。

*強固な信頼関係・同盟関係を築けたのが誇り？



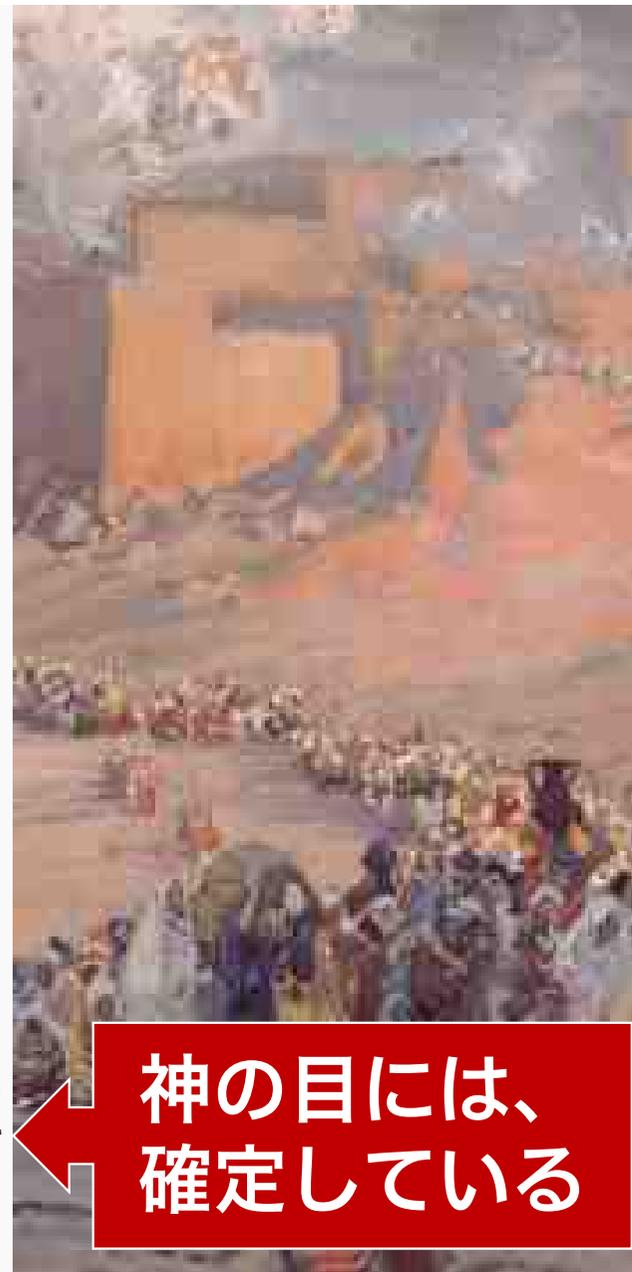
列王記 バビロン捕囚 列二20:17~18

見よ。あなたの家にある物、あなたの父祖たちが今日まで蓄えてきた物がすべて、バビロンへ運び去られる日々が来る。何一つ残されることはない——【主】は言われる——。

また、あなたが生む、あなた自身の息子たち*の中には、捕らえられてバビロンの王の宮殿で宦官となる者がいる。」

*ここでは子孫たち

■紀元前586年。約120年後、ユダはバビロニアによって滅ぼされる(バビロン捕囚)



神の目には、
確定している

列王記 ヒゼキヤの答え 列二20:19

ヒゼキヤはイザヤに言った。「あなたが告げてくれた【主】のことばはありがたい*。」
彼は、自分が生きている間は平和と安定がある*のではないかと、思ったのである。

*悔い改めの早いヒゼキヤのことだから、
主に立ち返って感謝を現したのでらう。

*主がヒゼキヤに示された憐れみ



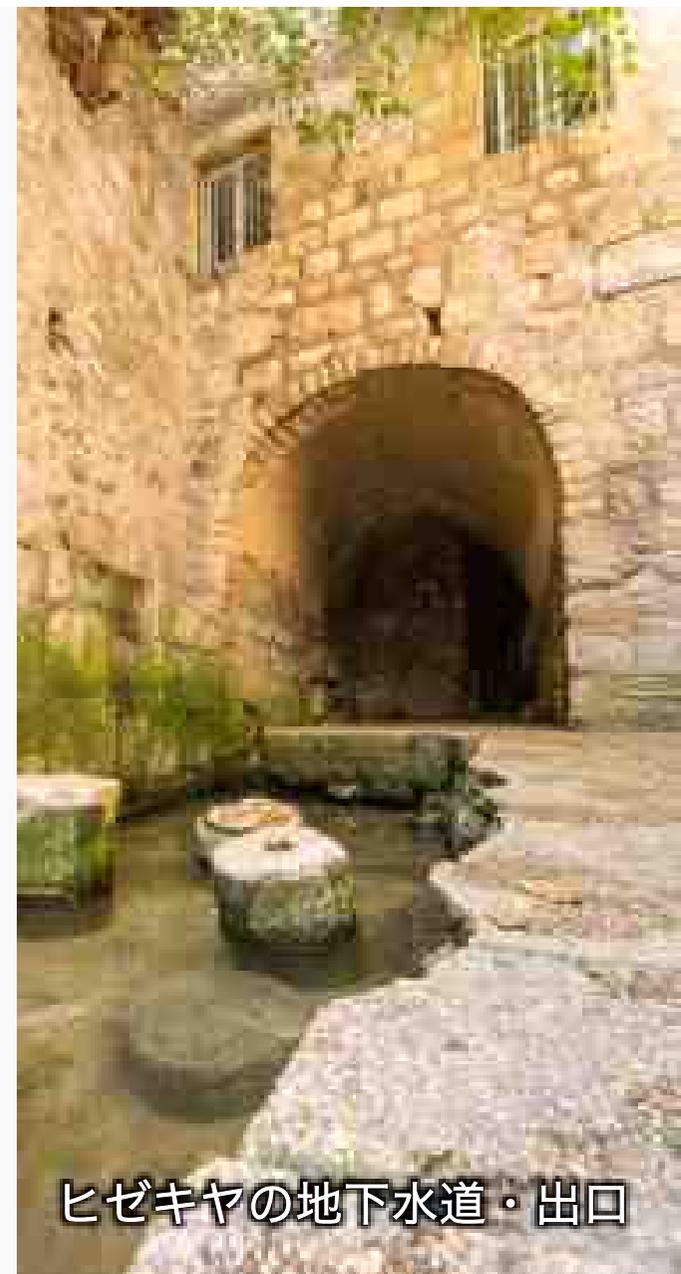
列王記 ヒゼキヤの功績 列二20:20~21

ヒゼキヤについてのその他の事柄、彼のすべての功績、彼が貯水池と水道を造り、都に水を引いた*こと、それは『ユダの王の歴代誌*』に確かに記されている。

ヒゼキヤは先祖とともに眠りにつき、その子マナセが代わって王となった。

*出口の先、イエスの時代にはシロアムの池が。

*相互に補完し証明し合う、列王記と歴代誌。



ヒゼキヤの地下水道・出口

歴代誌 ヒゼキヤの水道事業 歴二32:30

このヒゼキヤこそ、上方にあるギホンの水源をふさぎ、ダビデの町の西側に向かってまっすぐに流した人である。ヒゼキヤは、そのすべての仕事を成し遂げた。

- 水道事業は、現在も残る最大の業績。
 - ➔ 両端から掘り始め、ほとんどずれなく中央部分でつながった奇跡的な工事。



シロアムの池の跡

歴代誌

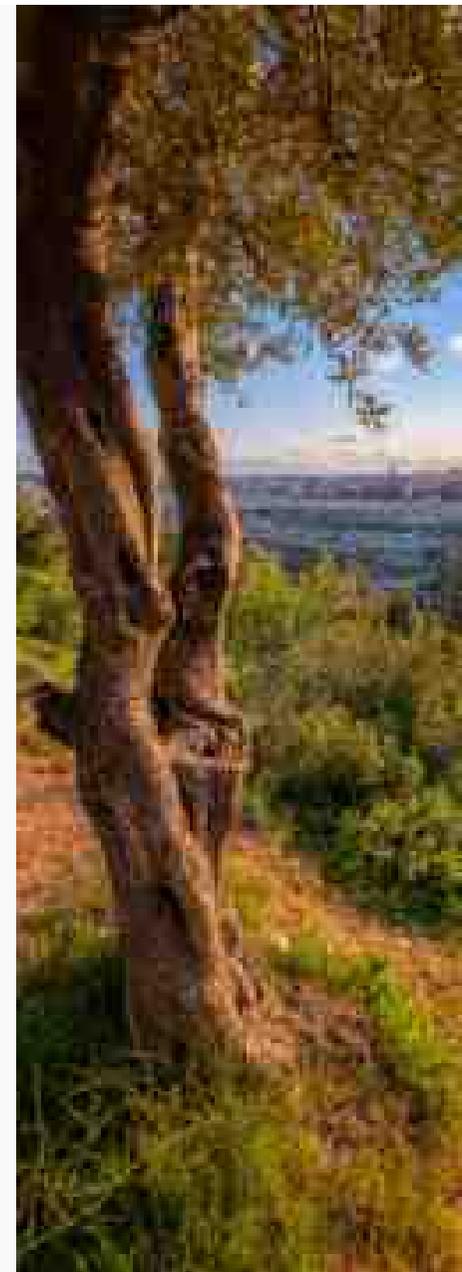
ヒゼキヤの死と埋葬 歴二32:32~33

ヒゼキヤについてのその他の事柄、その誠実な行いは、『ユダとイスラエルの王の書』の『アモツの子、預言者イザヤの幻*』にまさしく記されている。

ヒゼキヤは先祖とともに眠りにつき、人々は彼をダビデの子たちの墓地の上り坂*に葬った。ユダのすべての人々とエルサレムの住民は、彼の死に際し、彼に栄誉を与えた。彼の子マナセが代わって王となった。

*イザヤ書にもヒゼキヤについての並行記事が。

*歴代のユダの王で、最も尊厳ある場所に葬られた。





Ⅲ. まとめと適用

悔い改めに早い者になろう

ダビデの発掘現場

ヒゼキヤに学ぶこと

■ アッシリアの攻撃に備え、エルサレム最大の弱点、ギホンの泉を地下水道で都の中に取り込んだ。(世界最古の水道!!)

→ アッシリアの包囲に耐える一つの要因に!!

人事を尽くして天命を待った、ヒゼキヤ

■ 南王国・ユダの最善の王。それでも何度か過ちを犯した。病に陥った時、富による高ぶり、バビロンとの同盟…。

→ イザヤから主の御言葉を受けると、すぐに悔い改めた。

誰より悔い改めが早いのが、ヒゼキヤ

★ 信仰者として、悔い改めに早い者でありたい ★

1 ヨハネ1:9 「もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。」

- 福音を信じて救われた。救いは一瞬だが、成長には時間がかかる。私たちが罪を犯すことも前提に、主が悔い改めの道を示された。
- 罪に気づかされて、すぐに悔い改められるのが、成熟した信仰者。ヒゼキヤやペテロに学ぶべきは、彼らの悔い改めの早さだ。
- 悔い改めを拒む思いこそ、私にこびりつく罪の本質だと知ろう。

イザヤ書38章10～20節

ユダの王ヒゼキヤが病気になって、
その病気から回復したときに記したものだ。イザヤ 38:9

イザヤ書38章10～12節

私は言った。生涯の半ばで私はよみの門に入る。

私は残りの年を失ってしまったのだ。

私は言った。

私は【主】を、生ける者の地で【主】を見ることはない。

私は、死人の国の住人とともにあり、再び人を見ることもない。

私の住まいは牧者の天幕のように引き抜かれ、私から取り去られた。

私は、機織りのように自分のいのちを巻いた。

主は私を、機から断ち切られる。

昼から夜へと、あなたは私を終わりに近づけられます。

イザヤ書38章13～14節

私は朝まで叫びました。

主は雄獅子のように私のすべての骨を砕かれます。

昼から夜へと、あなたは私を終わりに近づけられます。

燕や鶴のように私は泣き、鳩のようにうめきました。

私の目は上を仰いで衰えました。

主よ、私は虐げられています。私の保証人となってください。

イザヤ書38章15～16節

何を私は語れるでしょう。主が私に語り、主が自ら行われたのに。私は自分のすべての年月、自分のたましいの苦しみのゆえに、ゆっくりと歩んで行きます。

主よ、これらによって人は生きるのです。
私の霊のいのちも、すべてこれらに従っています。
どうか私を健やかにし、私を生かしてください。

イザヤ書38章17～18節

ああ、私の味わった苦い苦しみは平安のためでした。
あなたは私のたましいを慕い、滅びの穴から引き離されました。
あなたは私のすべての罪を、あなたのうしろに投げやられました。

よみはあなたをほめたたえず、死はあなたを賛美せず、
穴に下る者たちは あなたの真実を待ち望みません。

イザヤ書38章19～20節

生きている者、ただ生きている者だけが、
今日の私のように、あなたをほめたたえます。
父は子らに あなたの真実について知らせます。

【主】は私を救ってくださる。
私たちは生きている日々の間、【主】の宮で琴を奏でよう。

てん とう
「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、^{そむ}罪を^{つみ}重ねてきました。
ひび おか つみ こくはく つみ
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

わたしは、^{かみ}神のみ子^こイエス・キリストが、
つみ あがな じゅうじか し

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ

②墓に葬られ、

みつかめ ふっかつ

③三日目に復活した^{しん}こと、を信じます。

それでもなお、^{つみ}罪を犯す^{おか}私が^{わたし}いますが、

しゅ く あらた きかい なんと あた
主が悔い改めとゆるしの機会を、何度でも与えてくださいます。

く あらた はや もの
ヒゼキヤのように、悔い改めに早い者としてください。

えいこう えいこう わたし みこころ か
栄光から栄光へ、どうか私を御心にかなうように変えてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」